

～医療の質評価・継続的な質改善活動の推進役を目指して～

オンラインで学べる！

日本医療機能評価機構のQM

医療クオリティ マネジャー

養成セミナーのご案内

質改善活動の
中核となる人材を育成する



医療の質向上を図る



Certification
QM
Medical
Quality Manager

継続的な
質改善活動を支援する



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

医療クオリティ マネジャー



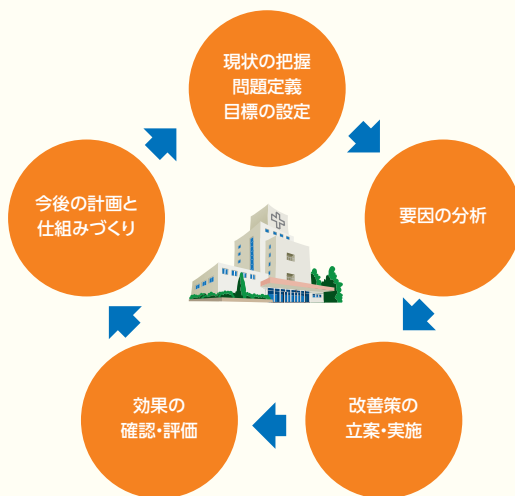
QM 医療クオリティ マネジャーとは

院内の質評価・質改善活動の推進役です。

医療の質について常に問題意識を持ちながら病院の現状をモニタリング・評価・分析し、課題解決に向けて組織横断的に質改善活動を推進します。また、病院機能評価や医療の質改善に関連する学会などに積極的に参加し、情報収集や知識・スキルの向上に努め、さらなる病院の質向上の原動力となり活躍します。



QMの役割



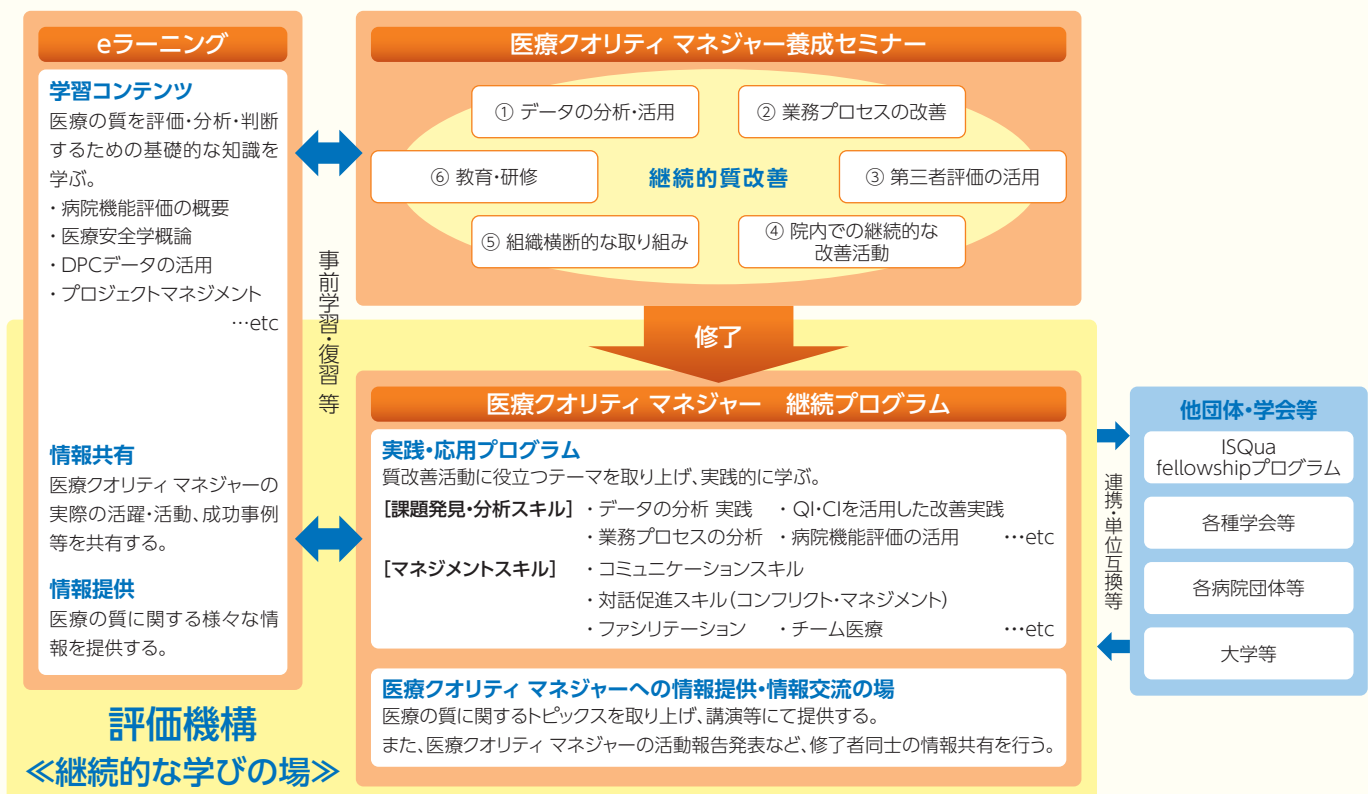
参考

病院機能評価の評価項目「1.5.3 業務の質改善に継続的に取り組んでいる」の中にも、「医療の質評価・分析に関する専門的な教育を受けた担当者（医療クオリティ マネジャー）を中心とした質改善の取り組みが求められる。」と記載されています。

QM 医療クオリティ マネジャーの3つの知識・スキル

- ▶ 医療の質を評価・分析・判断できる幅広い知識
- ▶ 病院の課題発見・分析スキル
- ▶ 質改善活動を組織横断的に推進するマネジメントスキル

QM 医療クオリティ マネジャー養成の仕組み



QM 医療クオリティ マネジャー養成セミナー

日本医療機能評価機構では、病院が組織として良質な医療を自立的かつ継続的に提供するための支援として、院内における質改善活動の中心的な役割を担う人材“医療クオリティ マネジャー”を養成するセミナーを2012年度より開催しています。

セミナーの流れ

e-learning [約10時間] + オンラインライブ [5日間]

前期	質改善に必要な知識・スキルを学ぶ	開講式・講義 [オンラインライブ1日] 学習動画に関する質疑応答 [オンラインライブ1日]	動画学習 [e-learning約10時間]
	自施設の課題と向き合う	課題1 評価項目を活用した現状把握 課題2 質改善計画の立案	
後期	質改善の実践力を高める	多職種でのグループワーク [オンラインライブ2日]	約2か月
		課題2(質改善計画)のブラッシュアップ	
		質改善計画の発表・修了式 [オンラインライブ1日]	

セミナーで学べる科目

e-learning 科目		講師	目的・ねらい
1	医療の質改善とQMの役割	橋本迪生	医療の質改善の考え方と医療クオリティ マネジャーが院内で果たすべき役割を学ぶ。
2	医療の質の評価	梅里良正	医療の質を評価し、高めるためのアプローチ方法を学ぶ。
3	医療の質指標の意義と活用法	猪飼宏	医療の質指標(QI・CI)の意義・目的を理解し、質改善への活用法を学ぶ。
4	患者満足度・職員満足度	加藤良平	「サービスプロフィットチェーン」の考え方に基づく医療の質の評価方法を学ぶ。
5	データ収集・分析・フィードバック	小林美亜	データに基づく問題解決の思考法と必要な調査の実施方法、調査結果を院内で共有するためのフィードバック方法を学ぶ。
6	病院機能評価 QM としてのポイント	梅里良正	病院機能評価(評価項目)が質改善活動において有効なツールであることを理解する。
7	プロジェクトマネジメント	能登原伸二	「PMBOK」の考え方に基づく質改善活動の始め方や進捗管理の手法を学ぶ。
8	コンフリクト・マネジメント	荒神裕之	組織横断的に質改善活動を進めるために必要な人間関係調整技法を学ぶ。
9	データを活用した質改善活動	荒井康夫	日常的に扱うデータなどから得た気づきを質改善に繋げるための活動イメージを掴む。
10	質改善計画書の立て方	小林美亜	課題(質改善計画の立案)に取り組む際の前提となる考え方を理解する。
オンラインライブ科目		講師	目的・ねらい
1	業務プロセスの改善	水流聡子	病院の課題を俯瞰的に分析する意義とその手法を学ぶ。
2	リーダーシップ・ファシリテーション	猶本良夫	チームで質改善活動を進めるにあたってリーダーに求められる姿勢やファシリテーションスキルを学ぶ。
3	病院機能評価に向けた QM の役割	梅里良正 的場匡亮	病院機能評価(評価項目)を質改善活動において有効なツールとして活用するイメージを掴む。
4	継続的な質改善活動の仕組みづくり	上條由美 的場匡亮	継続的に質改善活動を行うための仕組み(確認項目)を作る。
5	質改善計画書の発表およびディスカッション	荒井康夫 秋山智弥 小林美亜	持ち寄った課題(質改善計画)を共有し、多角的な視点で意見交換を行う。

セミナー講師一覧 (五十音順:敬称略)

秋山 智弥	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター看護キャリア支援室 室長・教授
荒井 康夫	北里大学 未来工学部 データサイエンス学科 特任講師 北里大学病院 診療情報管理室 北里大学病院 医療の質評価室 副室長
猪飼 宏	京都府立医科大学附属病院 医療情報部 部長
梅里 良正	独立行政法人労働者健康安全機構 顧問
加藤 良平	株式会社ケアレビュー 代表取締役
上條 由美	昭和大学 保健医療学部 教授
荒神 裕之	山梨大学大学院総合研究部医学域 医療安全学講座 教授
小林 美亜	山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床医学系 (附属病院 病院経営管理部) 特任教授
水流 聡子	東京大学 総括プロジェクト機構「Quality とHealthを基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」 総括寄付講座 特任教授 (医学博士)
猶本 良夫	川崎医科大学総合医療センター 病院長 / 川崎医科大学 特任教授
能登原 伸二	株式会社アイ・ティ・イノベーション 取締役 兼 専務執行役員 名古屋工業大学 情報工学科非常勤講師
橋本 進生	公益財団法人日本医療機能評価機構 常務理事
的場 匡亮	昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授

<※プログラム・講師は変更する場合があります。>

(2024年4月時点の所属)

開催概要

- 開催 年2回
※前期・後期セットでのお申し込みとなります。
- 対象者 病院における医療の質管理の実務責任者、
またはそれに準ずる方(それを目指す方)
※職位・職種は問いません。
- 形式 e-learningとオンラインライブ(Zoomミーティング)
- 定員 各回 75名程度
- 参加費 ・病院機能評価認定病院、
又は受審申請済み病院にご所属の方 …132,000円(税込)
・上記以外の医療機関にご所属の方 ……198,000円(税込)



(セミナー修了者に)
修了証を発行)

「セミナー修了者の声」Web配信中!



QM 修了者の声

セミナープログラムに関する声

医師

最初、病院から勧められた時はイメージがハッキリしませんでした。が、セミナーを終えてQMの重要性が認識できました。病院の将来を左右しかねない役割があるように感じました。

看護師

医療の質改善とは何かという本質を考える講義は深い学びとなりました。自院の質を俯瞰的に評価・分析するための知識・視点・スキルが身につきました。

事務職員

多職種のグループワークを通して、事務職の立場で組織横断的な質改善にどのように関与していけばよいのか具体的にイメージできるようになりました。

薬剤師

医療の質改善というテーマに焦点を当てたマネジメントやデータ分析のスキルを集中的に学べるのはこのセミナーだけだと思います。

複数ご参加いただいた病院様からの声

医師

病院を全体的に見ることのできる仲間がいるのは、心強いと実感しています。活動を広めるためには1人では難しい面もありますが、仲間ができたことで苦手な部門にも臆せず関われるようになりました。

看護師

同じ研修を受けた仲間がいるので、取り組みの目的を共有でき、院内での質改善活動がスムーズに行えるようになりました。他の職種と話す機会が増え、普段の業務も行いやすくなりました。

オンライン受講に関する声

看護師

Zoomの操作等のガイダンスが事前にあったので、スムーズに受講することができました。

医師

講義動画を好きな時間に繰り返し視聴できるので、理解が深まりました。

事務職

遠方の同じ目標を持った方との意見交換が非常に有意義でした。

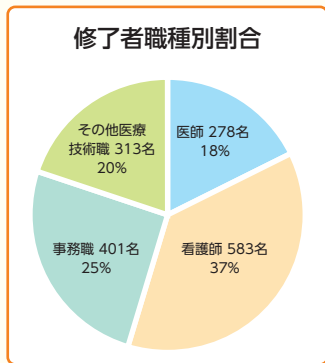
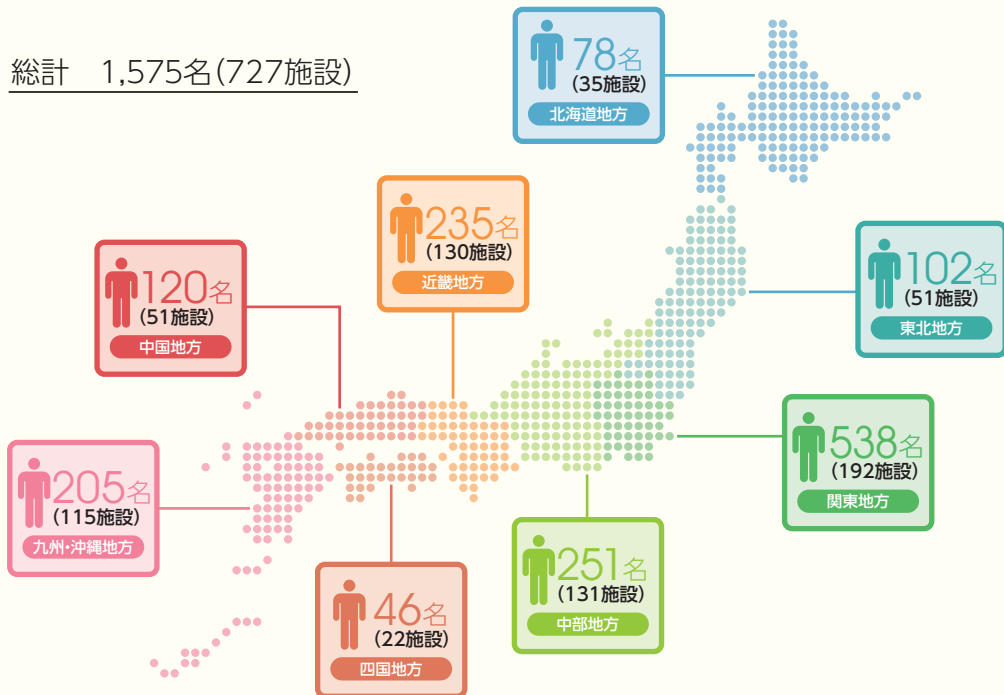
看護師

パワーポイントを共有しながらグループワークするなど、Webでの研修手法を経験できた。

※セミナー後のアンケートより

QM セミナー修了者実績 (2024年4月末時点)

総計 1,575名(727施設)



QM 認定・更新制度

目的

医療クオリティ マネジャーの継続的な学習の促進と質の維持・向上を目的として、医療クオリティ マネジャー養成セミナーを修了した方を対象に、院内で質改善活動を実施・推進することを要件に、審査を行った上で認定証を発行します。

【認定特典】

- ① 機構が開催する継続研修等の受講料割引・先行申込
- ② 学習支援サイト(eラーニング)の利用
- ③ 「医療クオリティ マネジャー」の名称及び認定マークの使用
- ④ 医療クオリティ マネジャー間での情報共有(交流)

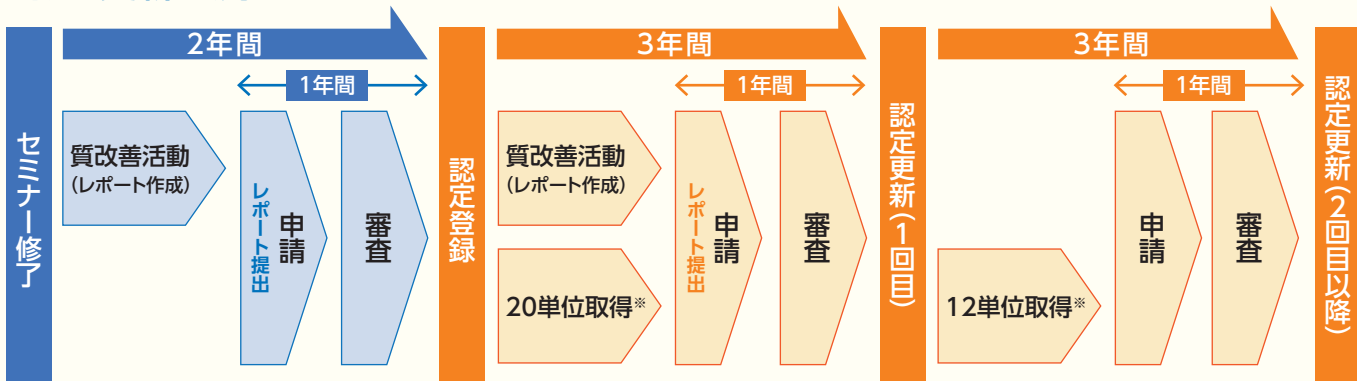


認定マーク



(認定者に認定証を発行)

認定・更新の流れ



- ※ 単位となる内容
- 評価機構が開催する各種セミナーの受講
 - 医療の質改善に関連する学会・セミナー・研修等への参加
 - 評価機構の評価調査者(サーベイヤー)・セミナー等の演者や講師としての活動 等

	提出書類	申請料
認定登録	・質改善活動の実践レポート	無料*
認定更新(1回目)	・質改善活動の実践レポート ・セミナー等の受講の証明となる書類 ・その他必要に応じて	16,500円(税込)*
認定更新(2回目)	・セミナー等の受講の証明となる書類 ・その他必要に応じて	

*審査の結果、認定(更新)留保となり、再申請を希望する場合は追加手数料として11,000円(税込)

QM 継続的な学びの場

●フォローアップセミナー

医療クオリティ マネジャーとしてより実践的な知識やスキルを継続的に学ぶための場として、実際の医療現場で役立つ様々なテーマのセミナーや質改善活動の実践共有会を開催しています。さらに、医療クオリティ マネジャー間で課題等を共有(交流)する場を提供しています。

<過去に取り上げたテーマ>

- ・データの集計と基礎統計
- ・対話を通じた人間関係調整(コンフリクト・マネジメント)
- ・院内のデータの活用(DPCデータ、看護必要度 等)
- ・病院の財務諸表と経営管理
- …etc



医療クオリティ マネジャー養成セミナー

セミナー詳細・申し込みはこちら

教育研修事業ホームページ(<https://jq-edu.jcqhc.or.jp/>)



公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

TEL: 03-5217-2373

E-mail: qmkenshu@jqhc.or.jp